

★ 2020年2月16日(日) ～ オーボエの優美な音色と弦楽四重奏を贅沢に楽しむ～

渡辺克也 & Plus弦楽四重奏団 ジョイントコンサート

2月16日(日)、世界中の管弦楽団で首席奏者を歴任し、ソリストとしても活躍する世界的オーボエ奏者の渡辺克也さんにお越しいただきました。共演は渡辺さんとの息の合った演奏が高く評価されるPlus弦楽四重奏団の皆さんです。

第一部はヨハン・クリスチャン・バッハの「オーボエ四重奏曲 変ロ長調」で幕を開けました。続いてベルンハルト・ヘンリク・クルーセルの「ディベルティメント Op.9 ハ長調」を披露していただきました。

第二部は武満徹の「翼」、そしてサプライズでクライスラー「愛の悲しみ」を演奏していただき、演奏時間おおよそ30分におよぶアントン・レイハの「オーボエ五重奏曲 へ長調 Op.107」を披露していただきました。曲間には木管楽器の一種であるオーボエの説明や、かつては超絶技巧といわれていた循環呼吸での演奏の実演もあり、会場は終始、出演者と客席の皆様とが対話をするような温かな雰囲気にも包まれていました。そして第二部最後のモンティ作曲「チャルダッシュ」が終わると、会場からは堰を切ったように素晴らしい演奏に対する大きな拍手が贈られました。

終演後のCD販売およびサイン会は5名の演奏に感銘を受けたお客様による長蛇の列ができました。オーボエの柔らかく伸びやかな音色が会場いっばいに響き渡り、ご来場のお客様には優雅なひとときをご堪能いただけたのではないのでしょうか。

